

令和3年度 第3回 理事会

令和3年10月2日(土) 18:00～

於：丸亀市民体育館会議室

理事23名のうち18名の参加のため、理事会が成立する。

1. 会長あいさつ

- ・新型コロナウイルスが落ち着いてきたが、国体等が中止になった。ただ、今後は全国規模の大きな大会は実施する方向である。
- ・この会は体育館の調整が主な議題になる。

2. 日本卓球協会報告

- ・星野一朗専務理事が6月からJOCの専務理事に就任し、2団体の専務理事を兼任している。星野専務理事が兼務していたTリーグの理事長には、坂井一也氏が就任した
- ・スポーツガバナンスコードに基づく組織改編により、来年度の日本卓球協会理事会の理事は外部から4名、女性が6名を含む15名から構成されるようになる。理事を選考する会により決定される。
- ・2021年度の中止及び中止が決定している大会
 - 全日本実業団卓球選手権 全国レディース卓球大会
 - 全日本クラブ卓球選手権大会 全国健康福祉祭
 - 国民体育大会(三重国体) 東アジアホープス卓球大会
 - 全国レディース卓球フェスティバル
- ・創立90周年事業に関して、9月12日に記念式典及び祝賀会は中止になった。90周年記念功労者表彰は本県から、田中副会長、旅田副会長、川田副会長が選ばれた。
- ・パリオリンピックの選考基準が示された。
- ・ルールの改定について、ラバーの色は、黒と、黒とは別の明るい色(赤以外も可)とする。
- ・オリンピックで使用した試合用の台を希望者に売却される予定。香川県卓球協会として1台(65万円)とフェンス10枚(5万円)を購入する予定であり、購入後香川県か高松市に寄贈する予定で交渉中である。

3. 四国卓球連盟第1回理事会報告

- ・来年度の四国大会のうち、香川県で開催されるのは四国ラージボール卓球大会と全国高校選抜大会四国地区予選の予定である。
- ・来年度(令和4年度)の四国高等学校卓球選手権大会は愛媛県、令和5年度は高知県、令和6年度は徳島県で開催される予定である。
- ・令和4年度6月30日～7月3日に全日本実業団卓球選手権大会(徳島県)が行われる予定で、各県から6月30日、7月1日に10名程度の審判員の協力を依頼されている。
- ・今年度の以下の大会の中止が決定した。
 - 四国卓球選手権大会(カデット以下の部) 四国ラージボール卓球大会
 - 四国レディース卓球大会

- ・四国卓球選手権大会のランキングの付け方について変更の提案があった。継続審議になった。
- ・四国ラージボール大会が2年連続で中止になったらランキングはどうなるのかは、ラージボール委員会で検討する。
- ・四国選手権(カデット以下)は四国卓球連盟のハンドブックにより、ランキングを持つ選手は年齢が上のカテゴリー(一般まで)に出場することができる。2019年のランキングを持つ選手は今年度の一般、またはジュニアの部に出場できる。ただし、今年度のみである。

4. 令和4年度行事予定 希望

5. その他

- ・来年6月に香川県で開催される全国ラージボール大会に向けて、審判員の講習会をして欲しい。
→実施する。日程等を調整して、連絡する。
- ・香川県卓球協会において、大会を中止にする基準があるのか。
→様々な状況や各カテゴリーによって明確な基準を作るのは難しい。

議事録署名人

理事長

塩見卓生 

事務局長

蓮井和智 